



平成27年 6月15日 NO・35

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269-2116 FAX029-269-3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp
 【ホームページで、カラー版が見られます】

保護者様の『常中魂』に感謝



校門の手前、常中の入り口のあじさいの花が盛りを迎えている。青や赤紫、やや白身を帯びたもの、見事な色合いで咲き誇っている。そんな美しいあじさいの花の前で、生徒たちの登校時刻にある保護者様が生徒たちを待っていた。保護者様が立っておられた。「どうしましたか。」と声をかけると、『部活に使う子どもを届けに来た』とのこと。しかしその場に車はない。おそらく公園に車を止めて、ここまで歩いてこられたのだろう。自らの子

を思うだけでなく、他のお子様の安全をも配慮され、自分で汗をかき歩いてこられたのだ。「これぞ保護者の常中魂！」そう感じた。その後何物は無事生徒に手渡され、保護者の方はまた歩いて戻って行かれた。後ろ姿を見送りながら見るあじさいの花が、なお一層美しく感じられた。



二本ある手のうち、どちらかは人のために使う

6月12日【金】に2年1組の教室で教生の先生の道徳の授業が行われた。

授業開始3分前には全生徒が着席できていた。教生の先生への思いやりが感じられた。しかし、教室の後ろのロッカーの上が乱れているのが気になった。

その時だ。ある女子生徒が、ロッカーの上を整頓しだした。

『二本ある手のうち、一本は人のために使う』これが常中魂。

このような出来事のあと、生徒たちは教生の先生と共に、道徳の学習に取り組んだ。背筋の伸びた学ぶ姿勢に常中生の心意気を感じた。



これは違う
 生徒たちの登校終了後、テニスコートの前を巡視していると、コート入り口にハンバーグ等のゴミ紙が散乱していた。「これは違う」本校を取り巻く環境としてふさわしくない。
 今朝この場所を多くの生徒が通過して、おそろしく心を痛めた。本校では、「掃目」をはじめ、環境を整える心を磨くことに取り組んでいる。生徒たちも環境を整えることに努力している。せひともここを使う全員が心を一つにして、生徒たちの教育に尽力くださりたく、お願い申し上げます。